

フォーラム

参加費
無料

地方創生を超えて

人口減少時代に向き合う地域政策を考える

現政権の「地方創生」は、本格的な人口減少・超高齢時代に向き合う地域政策たり得ているのでしょうか。

2016年、北海道大学公共政策大学院（HOPS）の研究者がこうした問題意識から、一般財団法人北海道開発協会の支援を受けて「人口減少時代の地域政策に関する研究会」を立ち上げました。このたび、岩波書店から公刊した『地方創生を超えて－これからの地域政策』はその成果です。

本フォーラムでは、その著者3名から成果報告をした上で、HOPSの高野伸栄院長を交えて、今後の地域活性化に向けた方策や可能性について、皆さんと一緒に考えたいと思います。

第1部 基調報告

14:05～14:30 「地方創生」を研究して：それをどう「超えて」いくか
北海道大学大学院法学研究科准教授 村上裕一

14:30～14:55 自治政策・国土政策から見た国と地方～広域連携を手がかりに～
北海道大学大学院法学研究科教授 山崎幹根

14:55～15:20 地域政策の新たなパラダイムを探る
地域政策プランナー・元北海道大学公共政策大学院特任教授 小磯修二

第2部 パネルディスカッション

15:30～16:30 基調報告の3名に北海道大学公共政策大学院院長 高野伸栄が加わり、ディスカッションを行います。

日時 2018年7月21日(土) 14:00～16:30
(受付開始：13:30～)

会場 北海道大学工学部フロンティア応用科学研究棟2F 鈴木章ホール

お申し込み・お問い合わせは裏面をご覧ください。

※9月1日(土)午後に、同趣旨のフォーラムを釧路で開催予定です。

主催：北海道大学公共政策大学院、一般財団法人北海道開発協会

共催：北海道大学法学研究科附属高等法政教育研究センター／後援：岩波書店、北海道新聞社

